

福祉部長目標

福祉部長 前田 広子(まえだ ひろこ)



当部の仕事をもって貢献しているSDGsの主なゴール



ゼロカーボンシティ実現に向けた当部の方針

福祉施設の電気自動車等導入補助、障害者施設外灯等のLED化を行うと共に、すべての業務についてゼロカーボンの視点で随時見直しを行ってまいります。

福祉部の仕事

福祉部は、福祉総務課・生活福祉課・障害福祉課・高齢者支援課・介護保険課・地域福祉センターの6課で構成し、地域福祉の向上をめざして、高齢者及び障害者に関すること、生活保護に関すること、介護保険に関すること、地域福祉に関することなどを主な仕事としています。多様化・複雑化する福祉課題に対し関係機関等と連携しながら業務を進めていきます。

福祉部の令和5年度の目標

安心・安全に地域で生活できる環境づくりのため、生活困窮者等への適切な支援を行います。
障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例の体現に必要な施策を推進します。
地域全体で高齢者の課題を解決するため、生活支援体制の整備を行います。
誰もが意思を尊重され、権利が守られる環境づくりを進めるため、成年後見制度の利用促進に努めます。

目標達成に向けた重点事業

No	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	生活困窮者自立促進支援事業	様々な課題を抱えて地域で孤立している生活困窮者の自立に向けた支援を行います。	自立相談支援機関に配置したアウトリーチ支援員により、社会参加に向け支援を必要とする方に対し、より丁寧な対応による自立支援の強化を図ります。	就労準備支援 9 件(延べ 1,073 件)、住居確保給付金 152 件。 アウトリーチ支援員により状況に応じ計画的な支援で自立を促しました。
2	障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例推進事業	条例に基づき社会的障壁の除去の推進を図るため施策を進めます。	「社会的障壁の除去推進事業補助金」の交付を進めるとともに、関係部署等で連携し、障害のある人もない人も共に取り組めるワークショップや条例の周知啓発にかかる研修等を行います。 併せて、障害者を取り巻く状況や、障害者のニーズ等を踏まえ第 6 次所沢市障害者支援計画を策定します。	社会的障壁の除去推進事業補助金交付件数 3 件。 来年度から義務化となる事業者の合理的配慮についての周知や条例の周知啓発に係る研修会等を 21 回実施しました。 障害のある人もない人も共に参加するワークショップを 2 回開催しました。
3	生活支援体制整備事業	地域の課題を地域で解決するための体制づくりとして、高齢者の生活支援や介護予防サービスの充実と周知に努めます。	生活支援の担い手の発掘・養成を行うとともに、地域資源の開発やネットワーク化により地域全体で高齢者を支援する体制の整備と周知を行います。 併せて、高齢者を取り巻く状況や、市民等のニーズ、課題等を踏まえ第 9 期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定します。	高齢者のデジタル・デバイドの解消に向けて、スマホ教室を開催しました。 地域における社会資源の発掘・開発を進め、社会資源数は 845 件となりました。
4	成年後見制度推進事業	社会福祉協議会や関係機関等と連携しながら、成年後見制度の普及促進に努めます。	成年後見制度について、市民に広く周知するとともに、実務ネットワークの構築を進めます。	成年後見センターでは 816 件の相談に対応しました。 制度周知のため、エンディングノート「私の整理帳」を作成し市民講座等で配布しました。 地域連携ネットワークとして情報交換会や勉強会を行い情報共有に努めました。